

1. 評価結果概要表

平成 19年 12月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	2072400977		
法人名	社会福祉法人 平成会		
事業所名	グループホームわかな		
所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪3296-1 (電話) 0265-70-1818		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成19年12月6日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(19年 12月 6日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 16日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤14人	非常勤0人 常勤換算14人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,170 円

(4) 利用者の概要 (12月 6日 現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	8名	要介護2	8名
要介護3	2名	要介護4	
要介護5		要支援2	
年齢	平均 85.9 歳	最低 73 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	箕輪町東部診療所 小野歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、もみじ湖につながる豊かな自然とゆるやかな丘陵地帯にあり、生活環境に広がりを感じられます。なお社会福祉法人平成会を母体に持ち、広大な土地の中に介護老人保健施設と併設して設置し、行事・研修・防災訓練等の連携により福祉サービスの提供に努められている。管理者は認知症介護への経験も長く、職員との協力体制づくりに努められ職員間の情報の共有が図られている。入居者は広々とした開放感のあるホームで、思いや希望等の表出に配慮された支援のもと、会話も多く入居者間の思いやりも見られ家族的な雰囲気の中で、ゆったり、ゆっくり、のんびりと生活されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回がグループホーム開設以来初回の外部評価にあたるため、この項目は該当しません。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は自己評価の意義や目的を理解し職員に周知が図られ、自己評価にあたり職員全員で取り組まれている。職員との聞き取りの際、自己評価によって日頃のケアに対する気付きが得られ今後のサービス提供に活かしていける旨を伺った。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議にあたり、入居者、ご家族、地域住民(民生委員)、行政担当職員、ホーム職員等幅広い立場の方々の出席を頂き定期的に開催されている。ホームの運営状況や日常生活状況についての説明をされ、出席者より意見・要望・が出され質疑・応答が活発に行われている。入居者よりホームでの住み心地のよさや要望等も表出され、ケアサービスに反映されている。地域との交流についても具体案を取り上げ検討が重ねられている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時に重要事項説明書に苦情相談機関等が記載され説明をされている。月1回金銭管理報告書とホーム便りに行事・写真をのせ現況報告を行いご家族の安心が得られる工夫や運営推進会議において日常生活の状況報告と共に、ご家族の意見・要望等の表出場面づくりに配慮が見られる。なおご家族の面会時ホーム玄関にご意見箱を設置し気軽に投函できる場が設けられ、要望等がケアサービスに反映されている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 散歩時に気軽に挨拶を交わし、身近な話題提供を行い日常的な付き合いができるよう努められると共に、中庭を開放して芝生で遊んで頂けるよう、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに配慮されている。なお地域住民によるボランティアの受け入れや年間行事活動に地域行事を取り入れる等、地域住民との交流に努められている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームは社会福祉法人平成会を母体を持ち、法人理念(地域住民との交流を深め、地域密着型として共に支えあう施設を目指します)を掲げ運営し、法人理念に基づいて福祉サービスの提供が行われている。	○	法人理念を基盤にしつつ、認知症対応型共同生活介護事業者としてのホーム独自の理念を日々の方針や目標に具体化した内容となっていることが望まれます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は月2回開催しているカンファレンスや日々のミーティングにおいてホーム理念について話し合い、共有化に向けて取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時、近隣の方々への挨拶や地域住民によるボランティアの受け入れ、年間行事活動に地域行事を取り入れる等、地域住民との交流に努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員はサービス評価の意義や目的を理解して、自己評価にあたり全職員により話し合わせ、介護記録を通して、日頃のサービス確認が行われ見直しに努められている。なお外部評価を基に今後ホームケアの改善に向けて取り組まれる旨を伺った。		

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム運営状況や、日常生活の状況報告を行い、出席者より意見・要望が出され、質疑・応答が行われている。入居者よりホームの居心地の良さや要望等も表出されケアサービスに反映されている。なお地域との交流についても具体案が出され、実現に向け検討されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人本部が窓口になり、市町村担当者との連携をはかり情報の提供を行いながら、課題解決への取り組みが行われている。	○	地域の方々の認知症の方に対する意識や理解、関わり方をお知らせする為に、ホームの専門性を活かし認知症予防教室等の市町村事業を積極的に受け入れ連携を図られることに期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月行事や写真を載せたお便りや金銭管理の報告が行われている。必要時には電話連絡もされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人全体でアンケートを年1回行われており、その検証を基に職員の意見交換を実施し改善が図られている。なお運営推進会議においてもご家族の意見表出ができる場面づくりに配慮されると共に、ホーム玄関にご意見箱を設置し、気軽に投函できる場が設けられ、要望等がケアサービスに反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動については極力最小限に抑えるよう配慮されている。しかしやむを得ず、離職や退職があった場合には最善の気配りにより、継続したケアができるよう努められている。	○	離職や退職により職員に異動が発生した時に、入居者へはもとよりご家族への周知を図られることを望みます。(お便りに新人職員の写真入りの自己紹介等)

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を積極的に活用し、可能な限り職員全員が研修に参加できる機会を確保されている。なお研修後報告書を提出して、研修内容についてはミーティングを利用して周知が図られ実践に活かされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会や講習会に参加して交流を図ると共に、他グループホームとの交流会(のぞみ会)を持ち、意見交換が行われホームサービスの質の向上に取り組まれている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	隣接の介護老人保険施設より入居の折には、施設とホームを行き来しながら馴染みの関係が築かれ入居に至っている。なおご家族との相談や入居者の事前面接において馴染みやすい雰囲気づくりに配慮されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の生活歴の把握に努め、常に入居者の目線にたって共に過ごし、入居者の長い人生の経験から得られた知識より学ぶ姿勢を大切にされている。入居者に寄り添い声掛けや体調確認をしたり、悩みや訴え事を聞き共に支え合える関係づくりに留意されている。		

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の言葉(つぶやき等)や行動の中より、入居者一人ひとりの要望や意向の把握に努められ、ミーティングやカンファレンスにおいて検討が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の担当が決められており、担当者がご家族に介護計画の説明を行い意見や要望を伺い、職員全員で行われるケアカンファレンスにより介護計画に反映されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月2回のカンファレンス時において入居者に状態変化が見られ、見直しが必要と思われた時には、入居者やご家族、主治医、関係者との話し合いを持ち、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の都合により通院介助ができない状況にある時には、通院介助や送迎等必要な支援が柔軟に行われている。		

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者やご家族の意向を大切に、かかりつけ医への受診の支援が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度や終末期にあたり入居者やご家族の意向を伺い、ご家族、医師、職員と話し合いを持ち、重度化に伴ない条件(安心、安全等の確保とチームの連携等)を整えば看取りも考慮されている事を伺った。(ターミナルケアに向けて職員間で話し合いを持たれると共に、マニュアルづくりに努められている)なお法人グループ全体として対応を検討し、協議もされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員が個人情報保護法の理解に努め、入居者の尊厳の保持と言葉がけに留意してプライバシーを損ねない対応に配慮されている。なお個人情報に関わる書類の管理徹底に努められている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な日課はあるものの、入居者のリズムに合わせ、入居者のペースで過せるよう支援されている。		

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買出しから食事の準備や片付けまで入居者と一緒に行い、軽音楽が流れる中で職員と語り(味付けや食の好みを聞いたり等)、さり気ない支援を受けながら楽しく食事をさせている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴を楽しまれている。現在は入浴が固定されており、入居者の意向にそった入浴支援にいたっていない。しかし今後入居者の希望にそった支援に向けて取り組まれつつある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴(生活習慣)より得意分野を見出し、役割や楽しみごとのできる場面づくりに配慮し支援がされている。(拭き掃除、買い物、調理のしたごしらえ、盛り付け、片付け、洗濯たたみ、園芸等)なお趣味を持たれている方には、趣味が継続できるよう支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の健康状態に留意しながらできる限り希望にそった外出支援ができるよう努められており、車椅子等を使用して多くの方が散歩や散策等ができるよう支援されている。また車にて出かける際には入居者が希望されるコースに気配りがされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には施錠がされていない。しかし職員の配置や建物の構造上と入居者の状態に考慮し、安全確保のために現在は玄関に鍵がかけられている。	○	鍵をかけない暮らしの大切さを職員間で認識しあい、入居者への寄り添いの支援等により安全確保が図られる取り組みに期待します。

グループホームわかな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に入居者と一緒に防災訓練を実施されている。(今年度は2回実施)	○	地域自治会や運営推進会議等に協力を呼びかけ地域の方々の協力体制を築かれ地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等の実施が望まれます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ホームでは日頃から栄養バランスや水分摂取量等に配慮されている。しかし栄養摂取量(カロリー)の把握がされていない。	○	定期的に管理栄養士等によるカロリー計算をして頂き、栄養摂取量や水分摂取量について、職員間で情報の共有を図られることを望みます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は採光もよく季節の生け花や観葉植物、もみじ湖に散策に行かれた折の紅葉の拡大写真が飾られると共に、真っ赤に色づいた「もみじ」一枚一枚をホーム窓ガラスに貼り付けられ動きある絵模様より温かみと季節感があり、入居者が立ち止まり眺められる姿が見られました。広いスペースを持つ共用空間の間を自由に行き来されて楽しまれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者一人ひとりの使い慣れた生活用品や思い出の品、位牌等が持ち込まれ、入居者が居心地良く過ごせる工夫がされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。